

Webセミナー

3.26 Fri.
13:30~14:30

日本の未来は東海企業が創る

東証 市場再編

東海地方上場企業の現状と対策

2022年4月、東京証券取引所は市場を再編する。

新市場では、流通株式時価総額やコーポレートガバナンスを意識した基準が新設され、これまで以上に投資家とのコミュニケーションと企業価値向上への取り組みが重要となる。

しかし、新基準への到達が危ぶまれる東海地域の上場企業は少なくない。

新基準を満たせていない理由は何か？

満たすための具体的対応策は何か？

万が一満たさなかった場合、経過期間中に必要な対応は？

本セミナーでは、東海地域の上場企業の現状と企業価値向上も実現する対応策を解説する。

お申込み ※右のQRコードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/20210326>



PROGRAM

お申込み ※右のQRコードからお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/20210326>



東証市場再編、 東海地方上場企業の 現状と対策

2022年4月に予定される東証市場再編。2020年7・11月の市場再編に関する公表を経て、対応を始める企業も増えています。

残された期間は意外と短く、対応するための社内リソースも限られる中でどう対応すべきでしょうか？

市場再編のキーワードは「投資家とのコミュニケーション」と「企業価値向上への取り組み」です。両者を叶える具体的方法を解説します。

- －東海地方上場企業、各市場ごとの現状
- －新市場で求められること
- －新基準を満たすために何をすべきか？
 - ・個人の短期売買から長期安定保有を目指す、機関投資家に向けたアプローチ
 - ・IRの重要性と具体的取り組み
 - ・中期事業計画等を活用した自社業績の積極開示
 - ・IR担当者1名、という企業でまず何に取り組むべきか？

※当日はQAもお受けいたします。
事前にご質問も承ります。ご質問おまちしております。

大庭 崇彦氏

株式会社テトラワークス 代表取締役／公認会計士

同志社大学法学部卒業。2006年、公認会計士試験合格後、有限責任監査法人トーマツ・トータルサービス1部に入所。上場企業の会計監査を中心に、ベンチャー企業を対象としたIPO支援業務、内部統制支援業務、IFRS導入支援業務をはじめ、中国国内上場企業の監査及びコンサルティング等さまざまな業務を経験。2011年4月同法人を退所し、同年10月に「世界のリーディングカンパニーを創出する」との理念を掲げ、グループ会社である「株式会社Bridge」（現在ブリッジコンサルティンググループ株式会社）を創業し、代表取締役COOに就任。同社では累計約1,000社のベンチャー企業に対して支援を行い、累計40社前後の上場企業を輩出。

2020年12月に自身の40歳という節目をもって創業10年、グループ売上高10億、従業員数50名、全国拠点5か所までの拡大をもって退任。2021年2月に株式会社テトラワークスを創業し、現在は、上場後に時価総額がふるわない企業に対して「時価総額の向上にコミットした支援を」という方針を掲げ、と主に時価総額100億円前後の企業に対して企業内部に深く入り込んだ支援を展開している。



東証市場再編、東海地方上場企業の現状と対策

日時	2021年3月26日（金） 13:30～14:30（13:15からアクセス可） ※Zoomで配信いたします。
対象	東海地方の上場企業の経営者、CxO、経営企画、IR担当の方 等
定員	300名
主催	株式会社プロネクサス
共催	株式会社テトラワークス／株式会社オービックビジネスコンサルタント
お問い合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 米本 mail: obc-as@obc.co.jp (9:00～17:00 土日祝祭日を除く)

- ※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りする場合がございます。
- ※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性がございます。
- ※ 新型コロナウイルスの影響により講演が中止になる可能性がございます。